

# もり エコ森林通信 vol.7

～トドマツの樹液、松ヤニの話～



## トドマツの香りと松ヤニ

右の写真は、エコニクスの森林に生えているトドマツの樹皮です。

さて皆さんは、このトドマツの樹皮を近くで観察したことはあるでしょうか？

灰白色でなめらかに見える樹皮をよく見ると、あちこちにぷっくりとした膨らみがあるのが分かります（例：写真の白丸内）。これをつついてみると、フニフニと柔らかい感触のものが入っているようです。この正体は一体何でしょうか？

これはトドマツなどのモミ属が持つ「ヤニ袋」と呼ばれるもので、中に入っているのはハチミツ色の樹液＝松ヤニです。松ヤニは、幹の外傷から感染症が侵入するのを防ぐ役割を持っています。袋を破ると、粘り気のある松ヤニが染み出し、柑橘系の爽やかな香りが鼻を抜けてゆきます。筆者も登山中にトドマツを見かけたら、よくこの香りを嗅いでリフレッシュしています。



※素手で触ると落ちない＆かぶれるおそれがあるので、つつく時は枝等を使いましょう！

## 木材以外にも！トドマツの使い途

最近、アロマオイルやファブリックミスト等、トドマツの枝葉やこの松ヤニの香りを使った商品をよく目にするようになりました。スギやヒノキとはまた違う、澄んだ、少し苦味のあるトドマツの香りは、本州出身の筆者にとっては異国情緒があり、ラベンダーやライラックと並んで北海道らしさを感じさせてくれます。

香り以外にも松ヤニには様々な用途があります。その一つが、弦楽器の弓に塗るロジンです。ロジンを弓に塗ることで凹凸が生まれ、弦との摩擦力が高まることで弦楽器は音を出すことが出来ます。現在使われているロジンは、ダイオウマツ（アメリカ原産）、ヨーロッパアカマツ（ヨーロッパ原産）等のマツ属の松ヤニが主体で、場合によってはそこにモミ属、トウヒ属、カラマツ属の松ヤニを混ぜています。今のところ、トドマツの松ヤニがロジンに使われた例は聞きません。実現すれば、北海道出身のバイオリニストが北海道由来の松ヤニで演奏、なんていう話題が出来るかもしれませんね。

## エコ森林クイズ その1

今回ご紹介したトドマツのクイズです。

トドマツの葉っぱは、

下の①～③のどれでしょうか？

答えはエコ森林通信 vol.9 にて発表です。

お楽しみに！

